

令和7年度助成事業

# 難病の子どもと家族の交流イベント

事業報告書

一般社団幹らんど

## ・事業内容

本事業は「難病の子どもと家族の交流イベント」をテーマに、  
1. キャンプイベントの実施  
2. 秋祭りの開催  
の2つの事業から構成されるものである。

## ・事業目的

本事業は「医療的ケアや重い障害のある子どもとその家族の体験機会と地域交流の創出を目的とし、イベント参加などの成功経験を積むことで障害のある子どもやその家族の活動範囲を広げることを目指す」という目的のもとに行なったものである。

## ・事業目標及びその達成率

### 1. キャンプイベントの実施

本事業の目標

#### ①10家族の参加

②参加児やその家族が同年代の子どもやその家族との交流や成功体験を積み、挑戦する力を身に着けること

①に関して当施設の利用児及び外部からの応募者で10組の予定であったが体調不良によるキャンセルが1組発生、結果9組の参加となりほぼ目標達成となった。

②に関して数値的な評価は難しいものの、開催後に実施したアンケートで「初めましての子どもたちがすぐに仲良くなり、笑顔で遊んでいる姿が見られた」「普通に募集されているキャンプや行事には参加できないが、安心して参加できた」などの意見が見られ、交流や体験機会の確保については一定の成果を得られた。

## 2.秋祭りの開催

### 本事業の目標

- ①参加者250名以上(イベント出演者、スタッフ、祭り参加者等すべて含む)
- ②地域のろう学校と連携し、学生協力のもと子どもたちが主役となって活躍できるイベントを開催する

①に関して当初予定の自施設での開催ではなく和歌山駅近くの商店街での開催となったため一般市民の当日参加者もあり正確な集計は難しいが、ファッションショー出演者が当施設、関係団体及び外部参加など合わせ約30名、その家族が約70名、ブース出展・音楽イベント関係者・ボランティア(学生、スタッフ含む)等を合わせ約180名。関係団体や地域の住人に加え駅近くの商店街で行われたイベントであったため立ち寄る人も多く、概算で300～350名の参加者となり目標は大きくクリアできたと思われる。

②について、当初はろう学校の被服科の生徒たちに出演する子どもたちの衣装制作やリメイクをお願いしようと考えていたが、今年度の被服科の生徒数が少なく難しいとのことでスタッフ・外部ボランティアが行うことになった。当日の運営スタッフとして和歌山県立医科大学の学生たちの助力も得ながら子どもたちがメインとなったショー開催ができたので、当初の想定した形とは違ったが地域連携・交流という意味ではある程度達成できたと考える。

## ・事業の評価及び課題

### ・評価点

個々の事業目標もそうだが、当初から主目的としていた「医療的ケアや重い障害のある子どもとその家族の体験機会と地域交流の創出」及び「イベント参加などの成功経験を積むことで子どもたちの活動範囲を広げる」ことについては想定通りに達成できたと考えている。

医療的ケアが必要な子、重い障害を抱える子が安心して参加できるイベント、ましてや宿泊を伴うイベントは全国でもまだそう多くはない。万全の体制の下でそういった子たちに体験機会を作り、また同じ境遇の保護者同士の交流も促せた。キャンプ、そして地域との交流も深められた秋祭り。子どもたち自身、さらに家族にとっての成功体験となり、挑戦の幅を広げていくにあたって大きな一歩になったのではないだろうか。現在世界が目指す「インクルーシブ」の考え方にもつながる重要な成果であると考えられる。

### ・課題

キャンプについて、概ね肯定的な意見ばかりであったがその中に「日中が暑かった」という感想が複数あった。次回開催時は開催時期を変更予定である。

また秋祭りについて、初めての場所であったことや当日の申し出によるブース位置変更などトラブルも重なり「どこに何があるかわかりにくい」といった来訪者からの意見や商店街組合から話を聞いていないという商店街の方からの意見があった。地域交流の創設も目的とする以上、参加者や関係者への配慮を忘れないよう、次回は詳細な計画と案内を行い共有するようにしたい。

以下事業の詳細内容についての広報製作物

# Family ファミリー★キャンプ Camp



2025年7月6日から7日にかけて、和歌山市内のガジュキャンプ場にてキャンプ体験イベントを開催しました。利用者や外部からのたくさんの応募の中から、抽選で選ばれた9組の難病児とそのご家族様をご招待しました。

両日ともに暑い日でしたが、自然豊かな景色に子どもも大人も大興奮でした。

1日目は子どもたちは水遊びやスタンプラリー、虫取りなど夢中になってたくさん遊びました。保護者同士の交流会もあり、パパ同士、ママ同士でチャームづくりやサマーカード作りをしながら交流を楽しまれていました。また夕方にはBBQが行われ、家族や職員を交えてみんなで美味しいお肉を頂きました。夕食後は有志スタッフによる演奏や歌、さらに打ち上げ花火で盛り上がり、みんな大喜びの1日でした。

2日目は朝食にホットサンド作り体験をしました。パパ・ママの為に一生懸命作る子ども、家族みんなで協力しながら作る子どもおり楽しそうでした。

あっという間の2日間でしたが、子どもも大人も笑顔の瞬間いっぱい沢山の思い出ができました。





テントで寛ぐ子どもたち。  
初めてテントに泊まる子ばかりでした。



みんなが同じ空間で過ごし、互いに関わり  
ながら共に遊びました。





パパ・ママたちの交流会。自己紹介をした後は工作をしました。自然と話も弾んでいました。



夜はBBQ！美味しいお肉でお腹も心も満たされました。その後はみんなで「キャンプだホイ」を歌ったり花火をしたりして楽しみました。



2日目の朝ごはんは各家族でホットサンドを作り、美味しくいただきました。





# 秋 まつり



Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

毎年恒例『秋祭り』が10月26日(日)にみその商店街で開催されました。

今年はインクルーシブファッションショーの開催、サインシンガーの強力翔さんやバンドのアビーロードさんのライブ開催、26ブース(体験、展示、販売、フード)の出店があり、今までで一番規模の大きい秋祭りになりました！ショー出演者の家族をはじめたくさんの方にご来場頂き、大盛況のうちに終える事が出来ました。

インクルーシブファッションショーでは、幹夫と幹子(マスコット)の結婚式から始まり、それに続いて子どもたちがスタッフやご家族と一緒に歩きました。堂々と歩く子、兄弟姉妹と一緒に歩く子、寝ている子、緊張して泣いてしまった子、飛び入り参加した子など、いろんな様子の子どもたちでしたが無事に参加する事ができました。この経験が今後の挑戦への小さな一歩になれば幸いです。

障がいの有無は関係なく、子どもも大人も色々な人が一緒に盛り上がり、楽しめた時間・空間でした。障がいを抱える子たちにとって少しでも外へ出かけたり、人との関わりを持ったりするきっかけになればいいと思います。





## 《インクルーシブファッションショー》

希望者はプロの美容師さんにヘアセットしてもらいました。



幹夫と幹子(マスコット)の結婚式から始まったファッションショー。牧師役はリハビリで歩けるようになった関係法人利用者の男性にお願いしました。



たくさんの方に見守られながら子どもたちがランウェイを歩きました。着ている服は、mikiHOUSEさんやfukufuku312さんなどから提供していただいたものをリメイクしたものです。





サイン(手話)シンガー強力翔さんとアビーロードさんのライブパフォーマンス。とても盛り上がりました。



UFOキャッチャーや折り紙コーナー、マッサージ、相談室、物品販売、キッチンカーなど様々なブースが出店しました。  
障がいの有無や年齢は関係なくみんなで同じ空間・同じ時間を楽しく過ごす事が出来ました。

